



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年1月31日

上場会社名 株式会社アドバンテスト 上場取引所 東  
 コード番号 6857 URL <https://www.advantest.com/ja/investors/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長・Group CEO (氏名) 吉田 芳明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼経営執行役員・CFO & CCO (氏名) 藤田 敦司 TEL 03-3214-7500  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	412,799	37.6	129,140	59.4	132,858	63.3	99,806	63.9	99,806	63.9	109,843	55.7
2022年3月期第3四半期	300,067	35.1	81,042	75.5	81,335	88.4	60,893	66.7	60,893	66.7	70,554	101.1

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	530.99	529.01
2022年3月期第3四半期	311.62	310.03

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	552,379	330,552	330,552	59.8
2022年3月期	494,696	294,621	294,621	59.6

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	50.00	—	70.00	120.00
2023年3月期	—	65.00	—		
2023年3月期（予想）				70.00	135.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	550,000	31.9	170,000	48.2	174,000	49.6	130,000	48.9	130,000	48.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

詳細は、添付P.4「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	191,542,265株	2022年3月期	199,542,265株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	7,572,664株	2022年3月期	9,634,859株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	187,962,265株	2022年3月期3Q	195,408,739株

(注) 期末自己株式数には、業績連動型株式報酬信託口が保有する当社株式（2023年3月期3Q：162,347株、2022年3月期：425,495株）が含まれております。また期中平均株式数は、株式報酬制度に係る株式を考慮して計算しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

## 添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	P. 2
(1) 経営成績の概況 .....	P. 2
(2) 財政状態の概況 .....	P. 3
(3) キャッシュ・フローの概況 .....	P. 3
(4) 今後の見通し .....	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記 .....	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	P. 8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 10
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 10
(セグメント情報) .....	P. 10
2022年度第3四半期決算(連結)の概要 .....	P. 12

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)の状況 (単位:億円)

	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	2023年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	3,001	4,128	37.6%
営業利益	810	1,291	59.4%
税引前四半期利益	813	1,329	63.3%
四半期利益	609	998	63.9%

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、地政学的リスクの高まりに起因する資源の高騰や新型コロナウイルス感染症の影響によるサプライチェーンの混乱などから世界的にインフレが進行しました。またインフレを抑制するため、欧米諸国を中心に政策金利が引き上げられるなど、世界経済への下押し圧力が高まり、景気後退懸念が深まりました。

この不透明な世界経済情勢のもと、半導体市場においても、スマートフォンやパソコン、テレビなど主要民生機器向け半導体の需要が減少し、関連する半導体メーカーでは在庫調整や設備投資計画を見直す動きが見られました。一方で自動車や産業機器向けなどの一部半導体は依然として不足している状況が継続しました。半導体市場はアプリケーションごとにまだら模様を呈するものの、全体としては徐々に減速感を強めつつ推移しました。

当社の半導体試験装置ビジネスにおいても、民生機器向け半導体の需要落ち込みにより影響を受けました。しかし半導体の高性能化を背景としたテスト需要の増加が民生機器向けでの半導体生産数量の落ち込みを補いました。他方、部材不足や物流網の混乱が広範なサプライチェーンに影響を及ぼし、当社の部材調達を引き続き厳しい状況が続きました。部材調達力の強化と同時に需要変動への備えを必要とする難しい局面でしたが、当社は中長期的視点に立ち、開発力強化とサポート力の充実に努めるとともに売上目標の達成に邁進し、概ね想定通りの売上高を計上しました。

これらの結果、売上高は4,128億円(前年同期比37.6%増)、営業利益は1,291億円(同59.4%増)、税引前四半期利益は1,329億円(同63.3%増)、四半期利益は998億円(同63.9%増)となりました。調達部材の価格上昇はありましたが、収益性の高い製品の販売比率上昇、円安による増収・増益効果などにより、いずれも第3四半期連結累計期間における過去最高額を更新しました。当第3四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドルが135円(前年同期111円)、ユーロが139円(同131円)、海外売上比率は96.6%(前年同期96.1%)でした。

セグメントの業績は次のとおりです。

## &lt;半導体・部品テストシステム事業部門&gt;

(単位:億円)

	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	2023年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	2,076	2,935	41.3%
セグメント利益	744	1,223	64.4%

当部門では、HPC(ハイ・パフォーマンス・コンピューティング)デバイスやアプリケーション・プロセスサでの一段の技術進化や性能向上から、SoC半導体用試験装置において、先端プロセス品向けの売上が大きく伸長しました。また需要が強い自動車・産業機器などの成熟プロセス品向けにおいても、販売が堅調に推移しました。メモリ半導体用試験装置についても、メモリ半導体は市況の悪化が見られたものの、高性能メモリ半導体向けを中心とした顧客の投資が継続され、当社製品の順調な販売が続きました。

以上により、当部門の売上高は2,935億円(前年同期比41.3%増)、セグメント利益は1,223億円(同64.4%増)となりました。

## &lt;メカトロニクス関連事業部門&gt;

(単位：億円)

	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	2023年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	318	423	32.9%
セグメント利益	49	100	2.0倍

当部門では、半導体試験装置に対する顧客の旺盛な需要を背景に、デバイス・インタフェース製品、テスト・ハンドラの売上がそれぞれ増加しました。利益面においては、主に増収効果が当セグメントの収益性向上に寄与しました。

以上により、当部門の売上高は423億円（前年同期比32.9%増）、セグメント利益は100億円（同2.0倍）となりました。

## &lt;サービス他部門&gt;

(単位：億円)

	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	2023年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	607	771	27.0%
セグメント利益	125	101	△18.8%

当部門では、当社製品の設置台数の増加にともない保守サービスの売上は堅調でした。しかしながらシステムレベルテスト事業において、当社の生産体制および開発体制強化のための投資が先行する中、一部顧客の民生機器向けの需要減退や米国による対中国輸出規制などの影響を受け、売上の伸びが計画を下回りました。その結果、当セグメントの利益額は前年同期を下回りました。

以上により、当部門の売上高は771億円（前年同期比27.0%増）、セグメント利益は101億円（同18.8%減）となりました。

## (2) 財政状態の概況

当第3四半期末の総資産は、現金および現金同等物が326億円減少したものの、棚卸資産が617億円、のれんおよび無形資産が107億円、有形固定資産が88億円それぞれ増加したことなどにより、前年度末比577億円増加の5,524億円となりました。負債合計は、借入金が180億円、主に預り金の増加によりその他の金融負債が45億円それぞれ増加したことなどにより、前年度末比218億円増加の2,218億円となりました。また、資本合計は3,306億円となり、親会社所有者帰属持分比率は前年度末比0.2ポイント増加の59.8%となりました。

## (3) キャッシュ・フローの概況

当第3四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より326億円減少し、840億円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益1,329億円を計上したことに加え、棚卸資産の増加（△593億円）、法人所得税の支払額（△397億円）に減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、465億円の収入（前年同期は、563億円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、200億円の支出（前年同期は、412億円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出（△163億円）と子会社の取得による支出（△35億円）によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、622億円の支出（前年同期は、437億円の支出）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出（△500億円）によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の当社を取り巻く市場環境を展望しますと、短期的にはインフレ進行や金利上昇などによる世界経済の景気後退リスクの増大に加え、米国による対中輸出規制強化など地政学的リスクの拡大懸念、急激な為替変動など、事業環境の先行き不透明感がさらに高まっています。半導体市場における在庫調整や生産調整、顧客の投資計画見直しには十分に注意を払う必要があります。

しかしながら、半導体は社会のデジタル・トランスフォーメーションやグリーン・トランスフォーメーションを支えるインフラストラクチャーとして、さらに高い機能や信頼性を求められ、中長期的には半導体市場の成長は揺るぎないものと考えます。メタバースなどのデジタル革命を体現するアプリケーションが拡大し、カーボンニュートラル対応の社会的要求の高まりを背景に、エネルギー効率改善を実現する半導体技術の重要度も増えています。顧客においても一部で投資計画見直しが行われる中、次世代デバイスの開発や将来をにらんでの戦略的投資が選択的に継続されています。「安全・安心・心地よい」環境・社会を支える半導体を世の中に提供するための半導体試験装置の需要も半導体市場の成長と軌を一にして成長していくものと予想します。

半導体市場は調整のさなかですが、高水準の受注残高を考慮し、当連結会計年度の通期連結業績予想は、売上高5,500億円、営業利益1,700億円、税引前利益1,740億円、当期利益1,300億円と2022年10月に公表した予想を据え置きます。また第4四半期業績予想の為替前提も、米ドルが130円、ユーロが140円と同様に据え置きます。

新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢に関して、当第3四半期連結累計期間の当社業績に対する直接的な影響は軽微だったと認識していますが、上述のとおり当社を取り巻く事業環境は不確実性を増しています。部材調達安定化を図るとともに、外部環境の変化に十分に注意を払い機敏かつ柔軟に対応してまいります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金および現金同等物	116,582	83,976
営業債権およびその他の債権	82,155	81,832
棚卸資産	95,013	156,731
その他の流動資産	11,007	19,261
(小計)	304,757	341,800
売却目的で保有する資産	188	—
流動資産合計	304,945	341,800
非流動資産		
有形固定資産	51,392	60,194
使用権資産	12,645	11,398
のれんおよび無形資産	85,307	96,022
その他の金融資産	14,565	16,567
繰延税金資産	25,494	25,956
その他の非流動資産	348	442
非流動資産合計	189,751	210,579
資産合計	494,696	552,379
<b>負債および資本</b>		
<b>負債</b>		
流動負債		
営業債務およびその他の債務	70,352	72,171
借入金	18,359	35,193
未払法人所得税	26,814	22,556
引当金	6,536	8,525
リース負債	2,918	2,911
その他の金融負債	3,276	7,799
その他の流動負債	22,627	22,410
流動負債合計	150,882	171,565
非流動負債		
借入金	12,239	13,394
リース負債	9,947	8,685
退職給付に係る負債	22,341	21,568
繰延税金負債	3,445	5,218
その他の非流動負債	1,221	1,397
非流動負債合計	49,193	50,262
負債合計	200,075	221,827
<b>資本</b>		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	44,995	44,566
自己株式	△81,547	△61,088
利益剰余金	279,828	285,692
その他の資本の構成要素	18,982	29,019
親会社の所有者に帰属する持分合計	294,621	330,552
資本合計	294,621	330,552
負債および資本合計	494,696	552,379

## (2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	300,067	412,799
売上原価	△130,463	△172,436
売上総利益	169,604	240,363
販売費および一般管理費	△88,471	△111,550
その他の収益	516	589
その他の費用	△607	△262
営業利益	81,042	129,140
金融収益	422	4,376
金融費用	△129	△658
税引前四半期利益	81,335	132,858
法人所得税費用	△20,442	△33,052
四半期利益	60,893	99,806
四半期利益の帰属 親会社の所有者	60,893	99,806
1株当たり四半期利益		
基本的	311.62円	530.99円
希薄化後	310.03円	529.01円

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上高	112,077	137,993
売上原価	△47,226	△56,390
売上総利益	64,851	81,603
販売費および一般管理費	△31,400	△40,528
その他の収益	172	223
その他の費用	△57	△74
営業利益	33,566	41,224
金融収益	565	142
金融費用	△56	△3,755
税引前四半期利益	34,075	37,611
法人所得税費用	△8,428	△8,966
四半期利益	25,647	28,645
四半期利益の帰属 親会社の所有者	25,647	28,645
1株当たり四半期利益		
基本的	132.50円	154.93円
希薄化後	131.91円	154.39円



## (要約四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	60,893	99,806
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の公正価値の純変動	5,347	1,067
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	4,314	8,970
税引後その他の包括利益	9,661	10,037
四半期包括利益	70,554	109,843
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	70,554	109,843

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	25,647	28,645
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の公正価値の純変動	3,362	2,478
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	3,473	△8,772
税引後その他の包括利益	6,835	△6,294
四半期包括利益	32,482	22,351
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	32,482	22,351

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2021年4月1日 残高	32,363	44,573	△15,001	214,858	3,576	280,369	280,369
四半期利益				60,893		60,893	60,893
その他の包括利益					9,661	9,661	9,661
四半期包括利益	—	—	—	60,893	9,661	70,554	70,554
自己株式の取得		△43	△45,711			△45,754	△45,754
自己株式の処分		△1,018	2,621	△865		738	738
自己株式の消却			66	△66		—	—
配当金				△25,470		△25,470	△25,470
株式に基づく報酬取引		1,018				1,018	1,018
その他				5		5	5
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				69	△69	—	—
所有者との取引額等合計	—	△43	△43,024	△26,327	△69	△69,463	△69,463
2021年12月31日 残高	32,363	44,530	△58,025	249,424	13,168	281,460	281,460

当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2022年4月1日 残高	32,363	44,995	△81,547	279,828	18,982	294,621	294,621
四半期利益				99,806		99,806	99,806
その他の包括利益					10,037	10,037	10,037
四半期包括利益	—	—	—	99,806	10,037	109,843	109,843
自己株式の取得		△23	△50,003			△50,026	△50,026
自己株式の処分		△1,619	2,183	△229		335	335
自己株式の消却			68,279	△68,279		—	—
配当金				△25,434		△25,434	△25,434
株式に基づく報酬取引		1,213				1,213	1,213
所有者との取引額等合計	—	△429	20,459	△93,942	—	△73,912	△73,912
2022年12月31日 残高	32,363	44,566	△61,088	285,692	29,019	330,552	330,552

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	81,335	132,858
減価償却費および償却費	10,879	15,262
営業債権およびその他の債権の増減額 (△は増加)	△2,093	4,396
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△20,060	△59,339
営業債務およびその他の債務の増減額 (△は減少)	△2,260	△212
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	2,087	1,962
預り金の増減額 (△は減少)	1,851	3,858
前受金の増減額 (△は減少)	6,413	△1,089
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△8,388	△1,225
その他	874	△10,352
小計	70,638	86,119
利息および配当金の受取額	53	213
利息の支払額	△102	△165
法人所得税の支払額	△14,293	△39,685
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	56,296	46,482
投資活動によるキャッシュ・フロー		
資本性金融商品の売却による収入	920	—
資本性金融商品の取得による支出	△881	—
負債性金融商品の売却による収入	404	—
有形固定資産の取得による支出	△11,801	△16,312
無形資産の取得による支出	△767	△581
子会社の取得による支出	△28,991	△3,505
その他	△132	417
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△41,248	△19,981
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	28,468	15,000
自己株式の処分による収入	726	301
自己株式の取得による支出	△45,779	△50,040
配当金の支払額	△25,260	△25,118
リース負債の返済による支出	△1,897	△2,336
その他	—	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△43,742	△62,202
現金および現金同等物に係る換算差額	1,243	3,095
現金および現金同等物の純増減額 (△は減少)	△27,451	△32,606
現金および現金同等物の期首残高	149,164	116,582
現金および現金同等物の四半期末残高	121,713	83,976

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	207,564	31,840	60,663	—	300,067
セグメント間の売上高	66	—	—	△66	—
合計	207,630	31,840	60,663	△66	300,067
セグメント利益(調整前営業利益)	74,402	4,930	12,493	△9,576	82,249
(調整)株式報酬費用	—	—	—	—	△1,207
営業利益	—	—	—	—	81,042
金融収益	—	—	—	—	422
金融費用	—	—	—	—	△129
税引前四半期利益	—	—	—	—	81,335

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	293,415	42,322	77,062	—	412,799
セグメント間の売上高	39	—	—	△39	—
合計	293,454	42,322	77,062	△39	412,799
セグメント利益(調整前営業利益)	122,325	10,041	10,139	△12,171	130,334
(調整)株式報酬費用	—	—	—	—	△1,194
営業利益	—	—	—	—	129,140
金融収益	—	—	—	—	4,376
金融費用	—	—	—	—	△658
税引前四半期利益	—	—	—	—	132,858

前第3四半期連結会計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	80,252	10,896	20,929	—	112,077
セグメント間の売上高	18	—	—	△18	—
合計	80,270	10,896	20,929	△18	112,077
セグメント利益 (調整前営業利益)	30,806	1,933	4,795	△3,514	34,020
(調整) 株式報酬費用	—	—	—	—	△454
営業利益	—	—	—	—	33,566
金融収益	—	—	—	—	565
金融費用	—	—	—	—	△56
税引前四半期利益	—	—	—	—	34,075

当第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	98,566	14,169	25,258	—	137,993
セグメント間の売上高	19	—	—	△19	—
合計	98,585	14,169	25,258	△19	137,993
セグメント利益 (調整前営業利益)	40,443	2,979	2,402	△4,141	41,683
(調整) 株式報酬費用	—	—	—	—	△459
営業利益	—	—	—	—	41,224
金融収益	—	—	—	—	142
金融費用	—	—	—	—	△3,755
税引前四半期利益	—	—	—	—	37,611

- (注) 1. 当社グループは、株式報酬費用調整前営業利益 (△損失) をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。
2. 株式報酬費用は、ストック・オプション、業績連動型株式報酬および譲渡制限付株式報酬の費用であります。
3. 報告セグメントの利益は、株式報酬費用調整前営業利益 (△損失) をベースとしております。
4. セグメント間の売上高は市場実勢価格に基づいております。
5. 全社に含まれるセグメント利益への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。

## 2022年度第3四半期決算（連結）の概要

### 1. 損益

(単位:億円)

	2021年度 実績	2022年度実績						2022年度業績予想	
		1Q	2Q	3Q	2Q比	3Q累計	前年同期比	通期	前年度比
売上高	4,169	1,359	1,389	1,380	△0.6%	4,128	37.6%	(5,500)	31.9%
売上原価	△1,810	△570	△590	△564	△4.5%	△1,724	32.2%	—	—
販売費および一般管理費	△1,212	△340	△371	△405	9.5%	△1,116	26.1%	—	—
その他の収益・費用	0	△1	3	1	△48.6%	3	—	—	—
営業利益 (売上高比率)	1,147 (27.5%)	448 (32.9%)	431 (31.1%)	412 (29.9%)	△4.4%	1,291 (31.3%)	59.4%	(1,700) (30.9%)	48.2%
金融収益・金融費用	16	36	37	△35	—	38	12.7倍	—	—
税引前当期利益 (売上高比率)	1,163 (27.9%)	484 (35.6%)	468 (33.7%)	377 (27.3%)	△19.7%	1,329 (32.2%)	63.3%	(1,740) (31.6%)	49.6%
法人所得税費用	△290	△119	△121	△91	△26.3%	△331	61.7%	—	—
当期利益 (売上高比率)	873 (20.9%)	365 (26.8%)	347 (25.0%)	286 (20.8%)	△17.4%	998 (24.2%)	63.9%	(1,300) (23.6%)	48.9%

(注) 上段( )の数値は、2022年10月27日発表時の予想であります。

### 2. 財政状態

(単位:億円)

	2021年度 実績	2022年度実績				2Q比
		4Q末	1Q末	2Q末	3Q末	
総資産	4,947	5,311	5,673	5,524	△2.6%	
親会社の所有者に 帰属する持分合計	2,946	3,279	3,424	3,306	△3.5%	
親会社所有者帰属持分比率	59.6%	61.7%	60.4%	59.8%	—	

### 3. 配当の状況

(単位:円)

(基準日)	2021年度実績			2022年度		
	中間期末	期末	年間	中間期末	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当金	50.00	70.00	120.00	65.00	70.00	135.00

(注) 2022年度の期末配当については、本日公表の「期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。